

## I. 授業のテーマと目標

以下の評価基準を満たした修士論文の執筆に向けて、研究指導を行います。

1. 論文に対して誠実かつ真摯に取り組んでいること。
2. 仕事で抱いた問題意識に関連したテーマを設定していること。
3. 現実に対して意味のある結果と含意を導出していること。
4. その結果と含意を導くプロセスが信頼に足り、説得力があること。

MBA では研究のための研究をしても、意味がありません。必ずしも学問的な意味での厳密性は求めません。

しかしながら、解くべき問題を明確に絞込み、そのための適切な方法を選択し、定量あるいは定性の意味あるデータをエビデンスとし、揺るぎないロジックを持ち、適切に執筆されている必要があります。それがなければ、説得力は生まれません。

各自が MBA 生活の集大成、つまり「作品」と思える論文を書き上げてほしいと願っています。そのような論文は、自分の所属する組織に対して必ずやインパクトを与えたいと思います。

## II. 授業計画

### 第1回 2023年9月16日

#### 1-2 限目

この日までに百田尚樹著『海賊とよばれた男』（講談社、2012）を読んで来てください。

まず、全員の自己紹介をします。そこでは、上記の本の感想、得た学びも教えてください。

次に、研究の型や研究の進め方についてのレクチャーを行います

その際、拙著『アメーバ経営論』（東洋経済新報社、2003年）を使って説明します。

事前課題として、この本全体の構造、各章の果たしている役割について A4 で1枚（表のみ）にまとめておいてください。

#### 3-5 限目

ポスターセッションの後で、教室に集合し、学ぶべき点などについて討議しましょう。

### 第2回 2023年10月7日

### 第3回 2023年12月23日

### 第4回 2023年12月23日

各自の研究プロポーザルを A4 で1枚（裏表）にまとめ、10分で発表してもらいます。

- ① 研究テーマ（必ず疑問形となるように設定してください）
- ② なぜ①は問う価値があるものか？（実務上の困難、矛盾、トレードオフなどを切り出してく

ださい。また、それは願わくば、自社のみならず、広がりのあるテーマであってほしいです)

③ どのような研究方法（社内のデータを使った分析，質問票調査，インタビュー，観察，アクションリサーチなど）を採用するのか？

④ どのような結果が予想されるのか？

を記してください。各自の発表の後で，参加者全員で討議をします

### III. メッセージ

演習は，自分の研究テーマを追いかけることは当然ですが，他のゼミ生の研究に対しても積極的にコメントし，協力してください。

修士論文はどうやってもしんどいに決まっています。

せっかくやるなら，世のため，人のためになる，大義ある研究をしましょう。